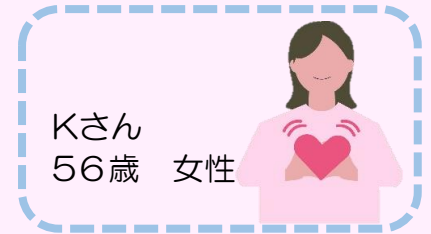


患者様の声



～心臓血管外科手術から身体機能の回復までを支えてくれる病院～



◆北嶺すとうクリニックから池上総合病院へ

2022年3月、仕事中に強い胸の痛みがあり職場近くの北嶺すとうクリニックを受診し、池上総合病院の心臓血管外科を紹介していただきました。検査をしたところ大動脈が5 cmに拡張しており、大動脈弁閉鎖不全症で血液が逆流していることがわかりました。その後2週間に1度の検査を経て、6月にベントール手術を受けることになりました。

◆主治医、大熊先生からのアドバイス

大熊先生は私の趣味のジョギングや山登りをこれからも安心して続けることを考えて、手術を勧めました。診察の度に家族にも丁寧に説明をしてくださいました。遠方に住む親には、検査の画像や動画を送り、安心してもらうことができました。たいへんな手術だとは思っていましたが不思議と先生の言葉から不安はありませんでした。大熊先生はオープンな方で私や家族の不安に寄り添ってくださいました。

◆手術から退院まで

手術当日は9時に手術室に入り、14時にICUに戻ってきたそうです。手術の翌日からリハビリを始め、1週間後に一般病棟に移ることができました。一般病棟に移ってからも1日2回のリハビリは続き、その際に心臓が元に戻るために有効な運動や減塩の食事の重要性などを伺い、とても勉強になりました。今でもいただいた冊子「心臓病のあれこれ」を参考にしています。退院は手術から19日後でした。

◆マラソン大会にエントリー

手術をする前は、時々強烈に疲れてダウンしてしまうことがありました。心臓が原因だとは思っていませんでしたが、手術後はなくなりましたので心臓が原因だったのかもかもしれません。普通はこんなに心地よい状態なんだなあと思うほどです。現在手術から6ヶ月が過ぎましたが、元の身体に戻すために、リハビリのための通院を続けています。そのおかげで体力も戻り、3月に開催される10Kmのマラソン大会にエントリーをしました。今はマラソン大会に向けて準備を進めており、大会の設定している時間内に走れる身体に戻すことができます。そして7月には富士登山も計画しており、今から楽しみです。

◆感想

池上総合病院で手術を受けることができ心から良かったと思っています。手術当日の朝に、矢尾先生から「いよいよ今日ですね。よろしくお祈りします。」とお声がけいただきました。「私は寝ているだけです。先生よろしくお祈りします！」と返事をしましたが、先生からは「我々は手術はしますが、その後のリハビリが最も大切です。これからのKさんの頑張りがとても重要です。」と言われ、この言葉を胸に刻み、ここまでできました。大熊先生、矢尾先生、看護師の皆さん、リハビリの先生、お世話してくださる助手の皆さんには感謝しかありません。毎晩、ジョギングコースにある池上総合病院にさしかかると、入院中の風景が目につかび、これからも頑張ろう！と思います。これからは私と同じような病気の方が池上総合病院で回復できることを願っています。本当にありがとうございました。